

# 『Mind Charging』

第 95 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 8 月 25 日

## 徳川家康の名言



### 我がために悪しきことは、ひとのためにも悪しきぞ。

私の中では、この言葉で表現されている『悪しきこと』とは、『ためにならないこと』と捉えました。自分にとって、ためにならないと感じることを人にさせることは良いことであるはずがありません。自我を通そうと思う時に、そうすることによって周りの人にどのような影響があるのか、そしてそれは本当にプラスになることなのかを考えられる“心の余裕”のようなものが必要であると考えます。

これまでの歴史の中で様々な出来事がありました。私を知る中で、世界中が同時に悲しんだ出来事はあっても、同時に喜んだ出来事はないと思います。それは、起きた(起こした)出来事の中に『自分(たち)のためになると信じてしたことが本当はそうではなかった』ということが多かったからではないでしょうか。

人はつい自分の欲求を優先してしまいがちです。それはある意味“仕方ない” ことでもあります。このコラムでも何度も述べてきたように人は一人では生きていけないですし、自分のしたことによって自分の知らない誰かに影響がある可能性があるというくらい様々な形で多くの人々と繋がりながら生きています。先に述べた『世界中が同時に悲しんだ出来事』として戦争が挙げられると思いますが、『愛する自国を守るため』に戦っているはずが、『自国の都合のいいように世界を牛耳りたいから』戦ってしまったのかもしれない。

もしかしたら、現在も日本の歴史史上最高の武将として語り継がれ、天下統一を成し遂げた徳川家康が本当に成し遂げたかったことは、全ての人々が幸せになり、共に喜びあえる世の中を作ることだったのかもしれない。むしろそうであったと信じていすし、その意思を継ぐつもりで私たちは日本と世界を愛に溢れた幸せな世界にする努力をしていきましょう。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

徳川 家康(とくがわ いえやす、旧字体:徳川 家康)は、戦国時代から江戸時代初期にかけての武将・戦国大名・天下人。安祥松平家 9 代当主で徳川家や徳川将軍家、御三家の始祖。旧称は松平 元康(まつだいら もとやす)。戦国時代に終止符を打ち、朝廷より征夷大將軍に任ぜられ江戸幕府を開く。三英傑のひとり。家系は三河国の国人士豪・松平氏。幼名は竹千代。通称は次郎三郎のちに蔵人佐。諱は今川義元より偏諱を受けて元信(もとのぶ)次いで元康と名乗るが、今川氏から独立した際に「元」を返上して家康に改める。(Wikipedia 参照)